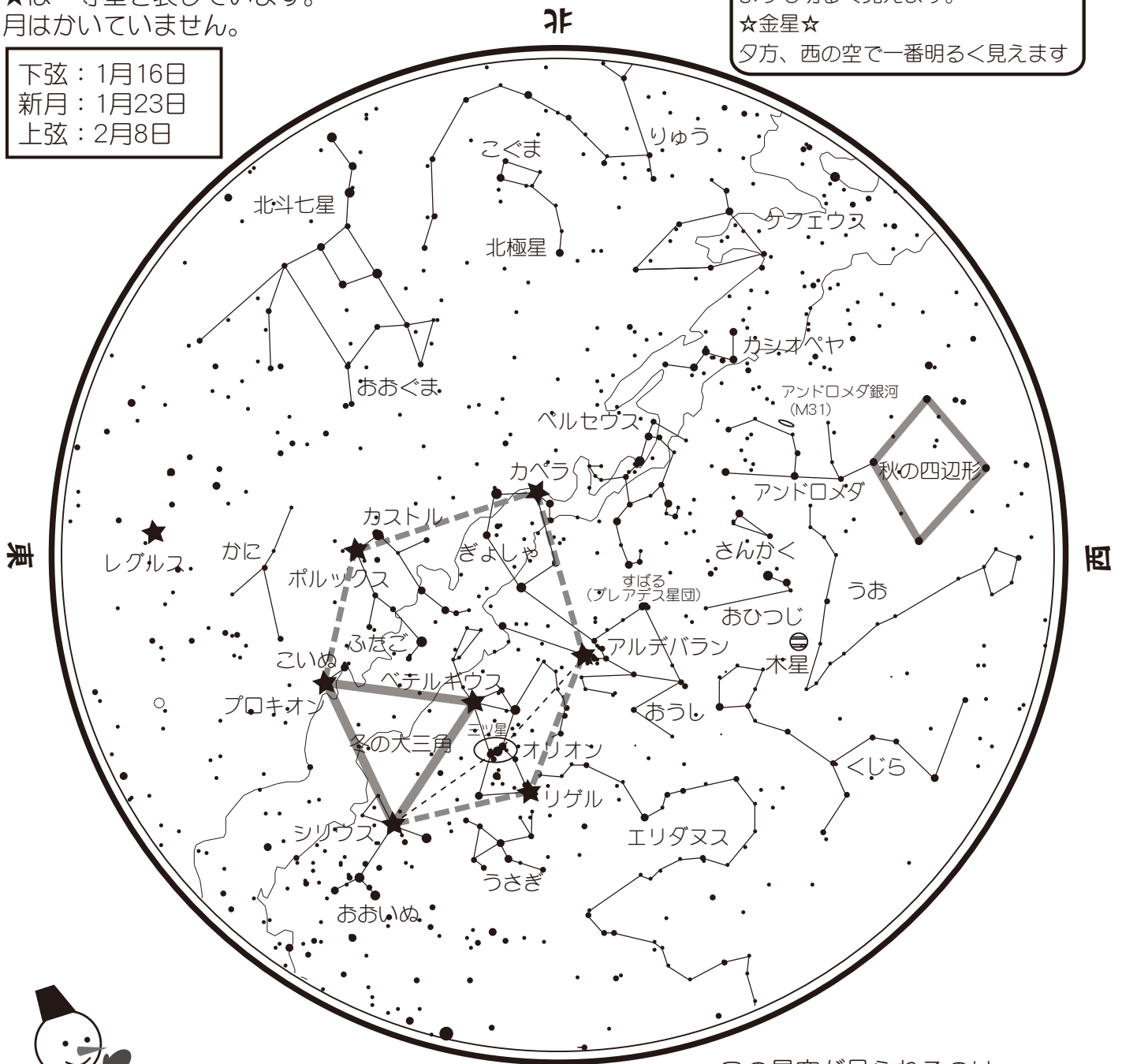


★ 姫路で見る1月後半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

☆木星☆
夜の7~8時ごろ南西の空で、一等星よりも明るく見えます。
☆金星☆
夕方、西の空で一番明るく見えます

下弦：1月16日
新月：1月23日
上弦：2月8日



2012 WINTER

この星空が見られるのは
2012年1月20日午後9時頃
2012年2月5日午後8時頃です。

冬真っ盛りの時期、星空は冬の星座が出そろって、とてもにぎやかです。明るく輝く金星や木星と合わせて、冬の星空めぐりを楽しんでください。

南の空には、リボンのような形が目印のオリオン座が見えます。オリオンの右肩と左足の部分には二つの一等星、ベテルギウスとリゲルが輝きます。オリオンは二匹のお供の動物、おおいぬ座とこいぬ座を連れ立っています。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを線で結ぶと、冬の大三角ができあがります。

また、オリオン座の三つ星を線で結んでのばしていくと、一等星アルデバランとおうし座が見つかります。おうしの肩の部分に見える星団「すばる」は、肉眼でも5~6個の星を確認できますので、探してみましょう。さらに天頂には、五角形と一等星カペラが目じるしのぎよしゃ座が輝きます。その隣に見えるふたご座は仲良し兄弟の星座で、兄のカストルは二等星、弟のポルクスが一等星です。

星座が見つかったら、一等星6個を結んでできる「冬のダイヤモンド」も探してみてくださいね。